

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について（速報） 〔2011年1-6月期〕

当連合会は全国の協会会員企業の協力を得て、平成23年1月-6月期日の景況動向調査を実施し、調査結果を次の通りまとめました。

《調査結果》

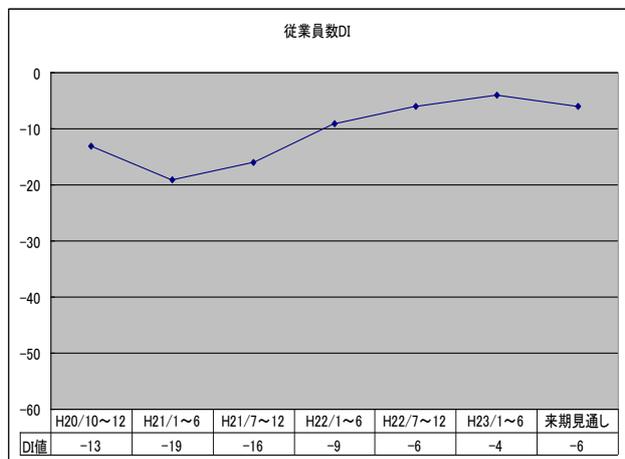
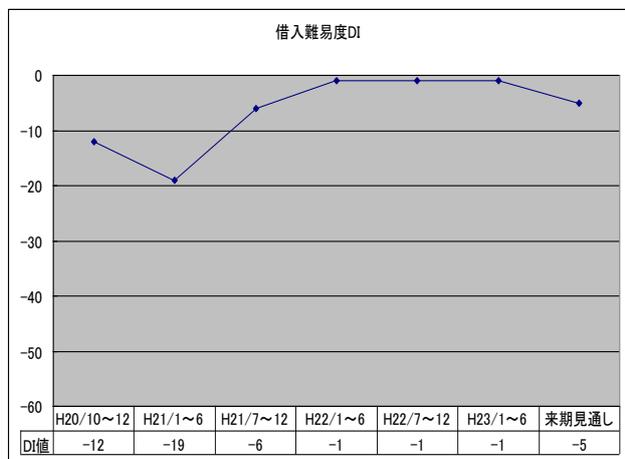
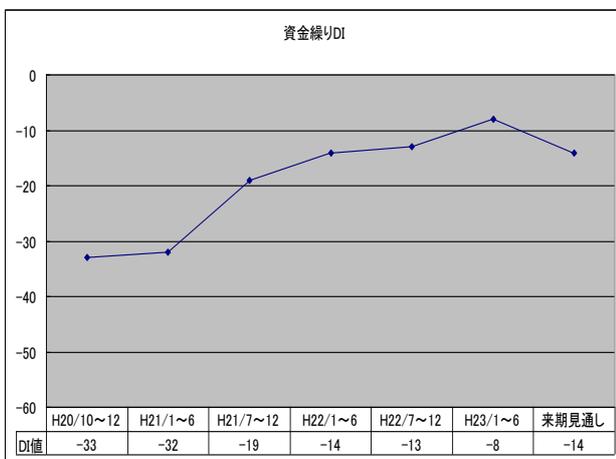
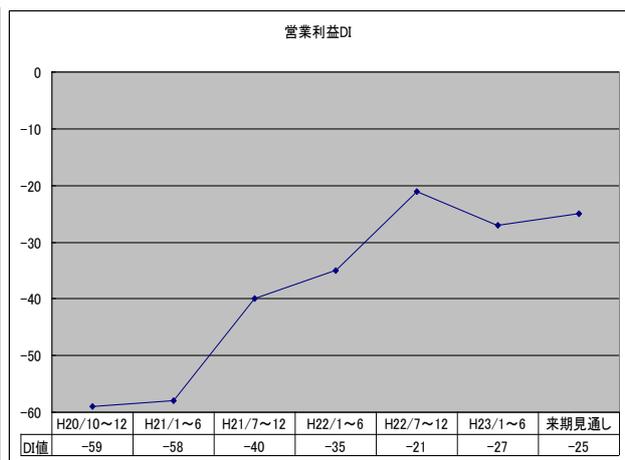
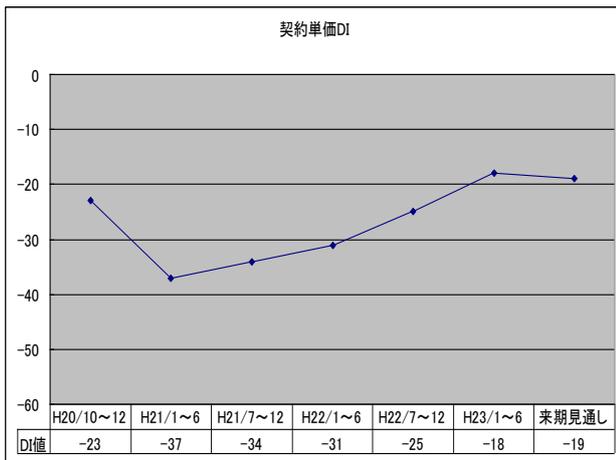
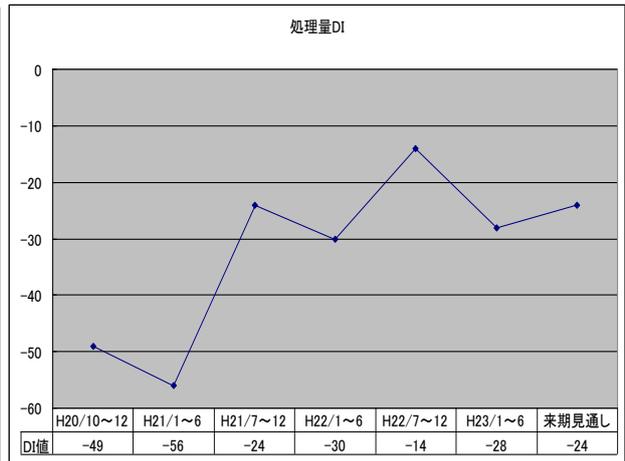
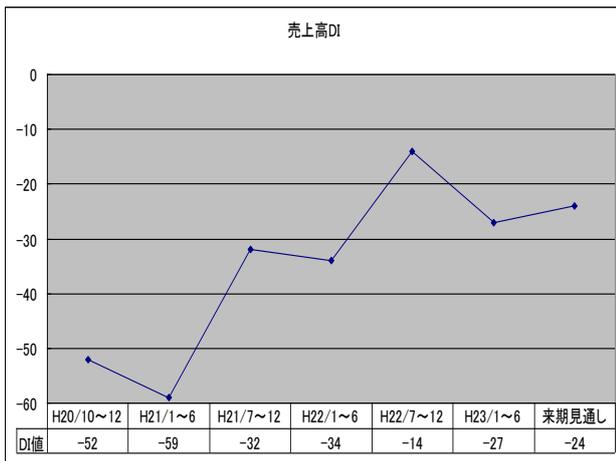
業況は悪化しているが、先行きには持ち直しの兆しもみられる。

- 2011年1-6月期の景況判断を「悪化」とした企業は54%で前回調査（2010年7-12月期52%）よりも2ポイント悪化となり、調査開始以来初めて悪化傾向となった。また、「好転」とした企業は4%で前回調査（4%）と同水準となった。

以下、業況感DIの内訳

- ・景況判断DIは▲50で、2010年7-12月期から2ポイント悪化。
- ・売上高DIは▲27で、2010年7-12月期から13ポイント悪化。
- ・処理量DIは▲28で、2010年7-12月期から14ポイント悪化。
- ・契約単価DIは▲18で、2010年7-12月期から7ポイント改善。
- ・営業利益DIは▲27で、2010年7-12月期から6ポイント悪化。
- ・資金繰りDIは▲8で、2010年7-12月期から5ポイント改善。
- ・借入難易度DIは▲1で、2010年7-12月期と同水準。
- ・設備投資DIは▲18で、2010年7-12月期から1ポイント改善。
- ・従業員数DIは▲4で、2010年7-12月期から2ポイント改善。
- 今後の景況感DIの見通しは、景況判断DIで▲47となっている。
- 売上高の動向については、2011年1-3月期で前年同期比（3ヶ月平均）▲2.1%、2011年4-6月期で前年同期比（3ヶ月平均）▲1.2%となった。
- 処理量の動向については、2011年1-3月期で前年同期比（3ヶ月平均）10.1%、2011年4-6月期で前年同期比（3ヶ月平均）23.3%となった。
- 経常利益率については、平均値が4.94%（前回調査5.14%）となった。回答割合は「5%未満」41.1%、「5-10%未満」14.7%、「10%以上」14.2%となった。
- 経営上の問題点については、1位「需要の停滞」、2位「同業者相互の価格競争の激化」、3位「顧客先からの値下げ要請」、4位「取引先の減少」、5位「震災の影響」となった。

※DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。



《調査の要領》

- 調査の対象：前回の調査（2008年10-12月期）で回答のあった全国の協会会員企業
- 調査の方法：郵送によるアンケート
- 調査期間：平成23年7月11日～8月26日
- 回答企業数：467社